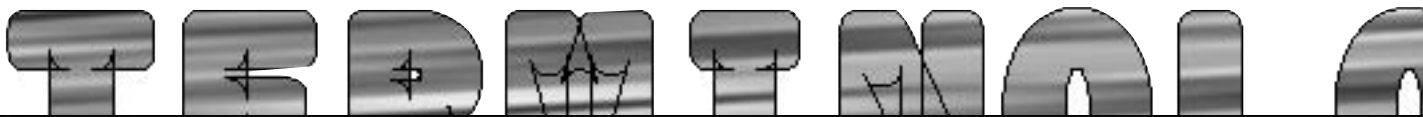


## TERMINOLOGY of Internet



### ■WAIS【ウエイズ】

Wide Area Information Servers (広域情報サーバー)の略。情報検索システムの1つであり、WAISクライアント、WAISサーバーおよびWAISデータベース(ソースとも呼ぶ)によって構成される。Archieではファイル名による検索しかできないが、WAISではクライアントでデータベースを指定してキーワードを入力すると、サーバーがデータベースの索引を検索して結果をクライアントに戻すので、内容を確認しながら検索できる(テキスト形式のファイルの場合、通常、全文を索引にしている)。また、検索条件に一致した回数順にファイルをリストする機能や、検索した結果をもとにさらに検索するといった絞り込み(relevance feedback)の機能を提供してインターフェイスを改善している。WAISではテキストに限らず、音声や画像などのマルチメディア情報も扱うことができる。WAISデータベースには有料のものも多いが、現在では約500の無料データベースが利用できる。WAISにはデータベース自体を検索する機能もあるので、その所在を知らなくてもかまわない。WWWとWAISのゲートウェイ(WAIS GATEなど)を利用すれば、MosaicなどのWWWブラウザでも検索できるので、とくにWAISクライアントソフトウェアを用意する必要はない。

### ■PAP【パップ】

Password Authentication Protocol(パスワード認証プロトコル)の略。ユーザー認証方式の1つであり、パスワードによって認証を行う。ダイヤルアップIPで使用されているプロトコル(PPP)の中の1つ。パスワードそのものが通信路を流れるので、セキュリティ上あまりよい方法ではないが、簡単に実装できるため広く使われている。

### ■ファイアウォール【firewall】

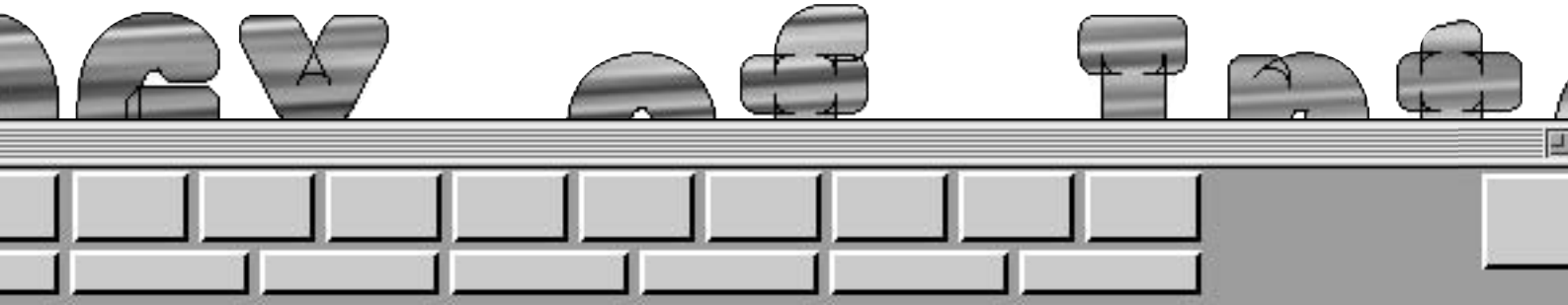
建築では「防火壁」のことであるが、インターネットではセキュリティ用のゲートウェイのことをいう。インターネットのプロトコルはネットワーク間の自由な相互接続を主眼にしているが、これはセキュリティの点から見ると、常に外部からの不正な侵入に組織内ネットワークがさらされていることになる。これを防ぐために外部ネットワークとの間にゲートウェイを置き、通過するすべてのパケットを組織のセキュリティ方針に従ってフィルタリング(スクリーニング)し、特定のプロトコルやIPアドレスしか受け付けられないようにしている。外部からのアクセスを制限すると、何らかのかたちで内部からのアクセスにも制約が加わることから、「壁」を越えたスムーズなアクセスを保証するために、プロキシサーバーという外部へのアクセスを代行するサーバーをファイアウォールに導入することもある。ファイアウォールはホストに限らず、ルーターで実現してもかまわない。

### ■MIME【マイム】

Multipurpose Internet Mail Extensions(多目的インターネットメール拡張仕様)の略。電子メールで、グラフィックス、音声、カラー画像などの非テキストデータ(バイナリーデータ)を扱うための仕様。MIMEによって、マルチメディアで作成したメールを送受信できるため、より効果的なコミュニケーションが可能になる。また、ファックス、PostScript イメージ、FTP サイトへのポインターなど、従来の範疇を越えたデータもメールに同封することができる。

UNIXの用語集が<http://www.sun.com/smcc/Products/glossary.html>にあります。関心のある方はアクセスしてみてください。また用語集を掲載しているサイトをご存じの方は、情報をお寄せください。

E-mail to : [ip-term@impress.co.jp](mailto:ip-term@impress.co.jp)



#### ■ デレゲートサーバー【delegate server】

プロキシサーバーの一種であり、ファイアウォールマシンに実装して使用する。クライアントの代理として動作すること、またキャッシュ機能を持っていることから、プロキシサーバーと機能的にもほぼ同じだが、デレゲートサーバーでは漢字コードの変換機能を提供している（つまり欧米では利用されていない）。HTML文書の作成には、JIS、シフトJIS、EUCといった各種の漢字コードが使用されているため、クライアントソフトウェアによっては漢字を表示できないこともあるが、デレゲートサーバーを使用することにより、この問題は解消できる。しかし最近では、クライアントソフトウェア側で漢字コードを処理できるようになったので、その役割を終えつつある。デレゲートは電総研の佐藤豊氏によって開発された。

#### ■ SMTPサーバー【エスエムティーピー server】

電子メールを発信するホストであり、SMTPというプロトコルを使用して、他のSMTPサーバーにメールの配信を行う。SMTPはSimple Mail Transfer Protocol(簡易メール転送プロトコル)の略。

#### ■ After care

■ Gopher 前号の「go far」は「go for」の誤りです。

■ ping 前号の「あるいは稼働しているかどうか」は「あるいはそのホストまでの通信経路が正常であるかどうか」の誤りです。また読みは「ピング」の方が一般的なようです。

#### ■ POPメール【ポップmail】

電子メールを読み書きする方法の1つ。ユーザーのマシン(クライアント)に対して郵便箱の役割を果たす。クライアントが指定したサーバーとの間で、POPというプロトコルを使用してメールの交換を行う。そのため、クライアント側の実装するメーラー(mailer)はPOPに対応していなければならない。ユーザーの認証は、クライアント側が設定したログイン名とパスワードによって行う。POPはPost Office Protocol(ポストオフィスプロトコル)の略。POP、POP2、POP3の3つのバージョンがあるが、下位互換性はない。現在は、POP3が主流。

#### ■ プロキシサーバー【proxy server】

プロキシサーバーとは、ファイアウォールの内側にあるクライアントからHTTPやFTP、Gopherなどのアクセス要求を受け付け、クライアントの「代理」をするサーバーの総称である。この機能によって、ファイアウォールを超えて外部へアクセスできる。プロキシサーバーでは、クライアントが指定して取得した文書をプロキシサーバーマシンのローカルディスク上にキャッシュ(貯蔵)する機能も提供しており、同一文書へアクセスされた場合に、キャッシュしている文書をクライアントに転送して、高速な処理が実現できるという利点がある。

■ vat 前号のvatはVisual Audio Toolの略。

■ NSPIXP WIDE プロジェクトにおいて、この略語の解釈が「Network Service Provider Internet Xrossing Point」から「Network Service Provider Internet eXchange Point」に変更されましたので、訂正します。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)